

本日で平成30年度が終了します。

あなた達にとってこの1年はどうだったでしょうか？

まず1年生

中学に入学して1年が過ぎました。中学校の授業は、小学校に比べて「学ぶ」という意味合いが格段に濃くなったと感じたのでは無いでしょうか？しかも中間テスト、期末テストが定期的に設定されており、2週間前から計画を立ててテスト勉強をしました。これらのテストは年に4回ありますので、その前の2週間を全て合計すると50日くらいになります。1年間に学校へ来る日は203日でしたので、学校へ来る日の4分の1にあたる日数をテスト勉強に費やした事になります。私は、本来勉強は楽しいものだとは常に考えています。しかし中学校の勉強は小学校に比べて『苦しさ』が目立ったはずです。これは部活動でも同じです。野球やサッカーをするのはたいへん楽しいですが、地区大会を勝ち進んで、県大会、東海大会、全国大会へ出場するためには苦しさとも戦わなくてはなりません。

勉強にしても部活にしても、より高みを目指すためには『苦しさ』を切り抜ける必要があること、そして苦しい事を『いかに楽しくやるか』が学力やチーム力の差となって現れます。

授業を周って見かけるのは『どんなことでも、楽しそうにやっている』あなた達の姿です。あなた達の学年カラーは『明るさ、素直さ、元気』です。そして、何度も『受検は個人戦、しかし受験勉強は団体戦』と言いましたが受検だけではなく、さまざまな事においてクラスや学年が共通の目標に対して、全員で活動できた時、一人一人の学力やスポーツの競技力が向上するのです。

4月に入ればすぐに後輩達が入学してきます。そして、宿泊体験学習、黄菊祭体育部門、期末テスト、中体連夏の大会と続き、7月の生徒会選挙であなた達の中から『生徒会長』を選ぶこととなります。そして夏休みから2学期にかけて部活動、生徒会活動で、3年生からあなた達への引継ぎが始まります。

どんな時でも『明るさ、素直さ、元気』というあなた達のカラーを前面

に出して、どんなことにも学年生徒190人の団体戦を展開するのです。今日はH30年度の最終日であると共に、明日からの春休みは、H31年度のスタートです。昨年11月に1年2組で3週間授業をやらせてもらいましたが、その時私は『あなた達にはあなた達が思っている以上に学力、チーム力を伸ばすための隠れた能力を持っている』と言うことを強く感じました。H31年度に大きく飛躍するのを期待します。

2年生

午後の卒業式で3年生が菊西中を去ります。いよいよあなた達が最上級生です。4月からのH31年度、前半は修学旅行、そして今年は10連休となるゴールデンウィーク、それが終わると黄菊祭体育部門、期末テストをはさんで中体連夏の大会とイベントが連続します。

年度の後半は『進路決定』です。調査書の評価点が重要な静岡県の入試制度では、4月に入ってすぐあなた達の「志望校へ向けて」の挑戦がスタートします。その中でも、とりわけ夏休みの「一日体験入学」が重要です。どの高校に体験入学してみるかを決めなくてはなりません。私自身は今まで何度も話したように相対性理論に興味を持ち、あなた達と同じ中学2年生の時から相対性理論に関する本を読み漁り、どうしても物理の研究者になりたいという思いが募り、当時県西部地区に一校だけあった「理数科」を目指して、磐田南高を第一志望にしました。「受かるかどうか」なんて考えもしませんでした。とにかく一学期は「自分は何を学びたいか」を考えて体験校を決めて欲しいのです。そのために「今」なのです。体験入学の締め切りまで、約3ヶ月です。繰り返しますが「受かるかどうか」「できるかどうか」は別問題、まず「何をやりたいか」です。そして、二学期から「合格」を目指してお父さんお母さん、先生達と相談しながら今度は「受験校」を決めるのです。

私の場合は希望の大学に入れず、進路を研究者から教師に変更しました。あなた達の中の昨年1年2組だった人たちと3週間理科の授業をしましたね。私は研究者を目指していた時の熱い思いを生徒に伝えたいと思い、「ニカ説、桜花説、侑飛説」など自分達で説を作って研究していくスタイルの授業を若い頃からしていました。元1年2組の人達、どうで

したか？私の思いは伝わったでしょうか？「もし、伝わっていたとしたら私自身としても大変嬉しいです。自分が研究者になりたい」って思って頑張った事は、自分の希望の大学に合格できず、あきらめざるを得ませんでした。無駄ではなかったと思っています。私は、あなた達2年生にもぜひそうして欲しいと思っています。「絶対この高校や専門学校等で学びたい」と思って頑張る人と「行けるところならどこでもいいや」と思っている人ではその後の伸びが違います。ですから私は今まで3年生を担任した時はいつも「一学期は志望校、二学期は受験校だよ。本当に自分のやりたい事から志望校を考え、精一杯受験勉強に打ち込み、12月の3者面談で実際に受験する学校を絞るのです」とクラスの生徒に話しました。

私はあなた達を『好奇心と思いやりの学年』と言ってきました。新しいことにチャレンジする『好奇心』と団体戦を戦い抜くための『思いやり』を100%発揮して、自分の学力や競技力を伸ばすと同時に、菊西中の顔としてH31年度、菊西中をさらに発展させて下さい。

以上、春休みから来年度にかけて、あなた達に対する期待をお話して平成30年度修了式の式辞とします。